

別表（５） 令和 7 年度 臼井保育園 防災教育及び訓練計画表

	災害想定 （発生場所）	避難場所 時間	ね ら い	訓 練 内 容	その他の訓練及び注意事項	消火訓練
4 月	災害の啓蒙	各保育室 （9 時 45 分）	・非常時の合図を知る。 ・災害時の避難方法、訓練の必要性を知る。	・火災、地震等、非常時にベルが鳴り放送が流れる事を知る。 ・非常時は遊びをやめ、保育士のそばに集まり、話を聞くことを約束する。	・消防計画や職員の分担の確認をする。 ・消火器、防災設備の位置確認	・園内消火器の位置確認 ・災害伝言ダイヤルの体験
5 月	地震【地震中度】	第 1 避難場所 （園庭） （9 時 45 分）	・地震時の基本的避難方法を知る 〔地震が起きた場合の身を守る方法を知る〕	・放送にて地震である事を知り、保育士と一緒に安全な場所へ（机の下や保育者の周りに集まり延髄を保護し身を守るなど）避難する。 ・揺れが治まったら状況を確認後、第 1 避難所に上履さのまま誘導する。 ・避難時の合言葉「おかしも」の約束をする。	・子ども達への声掛け・誘導・安全確保する。 ・カーテンを閉め飛散防止をし、窓、戸、等開放し、避難経路を確保する。 ・火災防止の為、・電化製品・電気・ガスの元栓などを消す。	・消火器・非常ベルの使い方や位置の確認（消火器持ち出し） ・災害伝言ダイヤルの体験
6 月	火災 【給食室】 ＊通報訓練	第2避難場所 （臼井小学校） （9 時 45 分）	・火災時の避難方法を知る。 ・風向きにより煙に巻かれないよう避難する。 ・第 2 避難所への経路を知る。	・ベル、放送で火災を知り保育士の側に集まり、放送や保育士の指示に従い上履さのまま、慌てずに避難する。 ・人数確認後、第2避難所に避難する。 ・保育士の指示によりハンカチ等で口をふさぐ。 ・避難時の合言葉「おかしも」を確認する。 ・火災報知器の使い方・解除の方法の確認 ・消防署に連絡（通報訓練）をする。	・職員の通報訓練をする。【通報訓練】 ・園児の動揺をしずめ、園庭に避難する。 ・火災時は、窓（排煙窓）や出入口を閉めるが鍵はかけない。 ・人数確認を速やかにおこない、第 2 避難所へ避難する準備をする。 ・残留園児の確認をする。 ・出火場所により、避難の場所が違うことを知らせる。 ・2次災害に気を付ける。	・消防署への通報 ・ホース、バケツリレーによる消火 ・災害伝言ダイヤルの体験
	不審者侵入	各保育室 （10 時 40 分）	・園内に不審者が侵入した際、身を守る避難方法を知る。	・放送を聞き指示に従い、室内での避難体制をとる。 - 各保育室で鍵をしめ安全確保のため待機する（身を守る大切さを知る）	・各保育室の目隠しカーテン、鍵や避難場所の確認 ・事務室の職員は不審者に冷静に対応するよう心がける。（応援体制を整える。） ・子どもにつく職員、不審者対応職員など役割確認をしておく。 ・笛や防犯ベルは、すぐに使えるよう常に常備しておく。	
7 月	地震 【中度】	第 1 避難所 （園庭） 16:45	・担任以外の職員の指示にも従って行動できるようにする。 ・地震時の基本的避難方法を知る。	・放送にて地震である事を知り、担任や担任以外の職員の指示により、落ち着いて避難行動をとる。 ・揺れがおさまってから、上靴のまま園庭に避難する。	・職員間で協力し避難経路を確保する。 ・園舎内の安全な場所に避難をする。 ・地震時の避難経路、職員配置の確認をする。 ・カーテンを閉め、ガラスの飛散防止をする。 ・出火防止措置・電気・冷房などの電化製品消す。	・消火器の点検 ・災害伝言ダイヤルの体験 ・水消火器訓練
8 月	火災【近隣】	遊戯室 14:45	・午睡中でも目をさまし、保育士の誘導により避難する。	・休憩中の保育士は、ただちに午睡場所へ行く。 ・放送や保育士からの声かけで近隣火災を知る。 ・午睡中ではあるが目を覚まし、保育士の側に集まる。 ・次の指示まで帽子をかぶり落ち着いて待てるように話す。	・呼吸器の弱い子などを把握しておく。 ・近隣の火災場所の確認をする。（危機管理室、消防署へ問い合わせる） ・火災場所、黒煙状況、風向きに応じて、待機場所や避難場所を判断する。	・消火器の点検 ・災害伝言ダイヤルの体験
9 月	防災訓練 【風水害】	遊戯室 （16 時）	・ニュース、情報を見たり、聞いたりすることの大切さを知る。 ・互いに助け合う心を養う。	・防災の日になみ、台風や集中豪雨、雷等の話を聞き停電、停電や断水についても知らせる。 ・直ぐに帰れる支度をして保護者が迎えに来るまで、安心して待てるようにする。	・自主点検を念入りにする。 ・備蓄品の確認（非常時の品の置き場・利用法の再確認） ・保護者への引き渡し方法や待機場所の確認をする。	・消火器の確認 ・災害伝言ダイヤルの体験
1 0 月	火災【調乳室】	第 1 避難所 （園庭） （17 時 30 分）	・担任以外の職員の指示にも従って行動できるようにする。 ・薄暗い中でも安全に避難できるようにする。 ・火災時の基本的避難方法を知る。	・ベル、放送で火災を知り、出火場所の確認をおこない、保育士の指示に従い上履さのまま、慌てずに避難する。 ・保育士の指示によりハンカチ等で口をふさぐ。 ・避難時の合言葉「おかしも」を確認する。 ・火災報知器の使い方・解除の方法の確認。	・延長保育職員と当番職員の協力体制の確認。（指揮は当番職員） ・呼吸器の弱い子などの把握をする。 ・火災時は、窓や出入口を閉めるが鍵はかけない。 ・出火場所を確認し、避難経路を確認。 ・残留園児の確認。	・消火器の持ち出し ・災害伝言ダイヤルの体験
1 1 月	総合避難訓練 火災【給食】 ＊通報訓練	第 1 避難場所 （園庭） （10 時）	・総合訓練を実施し、消防署の指導を受ける 【通報・避難・消火訓練】。	・園児の避難訓練、職員の通報、消火訓練をおこなう。 ・消防署員の指導・評価を受ける。 ・火災の恐ろしさを知り防火教育を行う。（DVD）	・消防署への通報、消火器での消火訓練。「早く知らせる」「早く消す」「早く逃げる」の再確認をする。	・消防署員指導による消火訓練 ・災害伝言ダイヤルの体験

12月	地震【地震中度】	第1避難場所 （園庭） （10時15分）	戸外遊び中での避難の仕方・身の守り方を知る。	- 放送にて地震である事を知り、周囲の確認をし、安全な場所に（倒れてくる物や落ちてくる物がないか）集め延髄を保護し身を守る（ダンゴムシのポーズ）。 - 遊具には保育士が付き添い、慌てて怪我などをしないよう支援する。	- 子ども達への声掛け、誘導・安全を確保する。（危険な場所や予想された場合は、職員間で声を掛け合い集まる場所を考えていく） - 園庭での安全な場所や危険な場所がないか等を再度確認する	- 消火器点検 - 災害伝言ダイヤルの体験
1月	火災 【事務室台所】	第2避難場所 （臼井小学校） （10時00分）	・火災時の基本的避難方法を再確認する。	- 保育士の指示により腰を低くしてハンカチ、腕で口を覆う。 - 風向きを考え、園庭内での避難、待機場所を決める。	- 呼吸器疾患のある園児の把握。 - 残留園児がいないことを確認する。 - 火災時は、窓や出入口を閉めるが鍵はかけない。 - 重要書類の運搬訓練。	- 消火器点検 - 非常ベルの使い方や位置の確認 - 災害伝言ダイヤルの体験
	不審者侵入	室内の安全な場所 園庭から園舎	・不審者侵入に対して身を守る避難方法を知る。	- 園庭で遊んでいる際不審者出現。放送が出来ない際は、笛や合言葉で職員に知らせ合い、園児を園舎へ誘導避難する。 - 慌てずに園舎内に避難できるよう誘導し、安全な場所を確保し、施錠する。	- 放送や笛や防犯ベルなどがすぐに使用できるように常に常備しておく。 - 入室後、カーテンを閉め、鍵をかけバリケードなどをし、身を守る。 - 点呼・人数確認を速やかにおこなう。 - 事務室職員は、すぐに対応できるよう、傘、消火器、さすまた等の位置を把握しておく。 - 不審者に冷静に対応するように心がける。	
2月	火災【漏電】 2階の中倉庫	遊戯室 （11時00分）	・いろいろな火災のあることを知る。	- ベルの音で避難する。 - 漏電等の話をし、危険な遊びやいたずらをしないように約束をする。	- 昼食準備などをしている時間帯なので、園児の動揺をしずめ、避難する。（職員配置を確認する） - 電気器具類の安全確認。	- 消火器の点検 - 災害伝言ダイヤルの体験
3月	地震【地震中度】	第1避難場所 （園庭） （14時45分）	- 午睡中でも目を覚まし、保育士の誘導により避難する。 - 地震時の素早い行動を身につける。	- 布団などで落下物から身を守る。 - お喋りをせず、騒がず、保育士の指示に従い、素早く園庭に避難する。 - 建物の落下から身を守る。	- 保育園の安全な避難場所を再確認する。 - 食料、飲料水確保の確認。 - 落下物の確認・備蓄米の確保。 - 地震時の避難経路・職員配置の再確認をする	- 消火器の点検 - 災害伝言ダイヤルの体験